Newsletter Internet Society Japan Chapter

Vol. 10 / September 2017

■IETF関連

IETF99 プラハ 報告会

日時：2017年9月1日（金）13:30-18:00

会場：TECH PLAY SHIBUYA（ストリーミング中継有）

IETF99では、IPv6、DNS、TLS1.3、ルーティングプロトコルといったこれまでの議論に加え、新たなトランスポート・プロトコルQUICや、セキュリティと運用性に関わるテーマなど、未来のインターネットに向けた多岐に渡る議論が行われました。また、IETF Hackathonも定着し、多くの積極的な活動が行われました。そのようなIETF99の様子を、会合に参加された方からご報告いただきました。

また、ICANN CTOのDavid Conrad氏をお招きし、"ICANN's participation at IETF" と題した講演を行っていただきました。

Get together

ISOC-JPでは、IETFへの日本人参加者増を目的として、現地における懇親・情報交換のための"get together"を開催しています。プラハでは20名近い方にご参加頂き、懇親を深めました。

写真：プラハでのget togetherの様子

■ISOC-JPワークショップ

第23回：コミュニティ運営者の法人化について

日時：2017年5月10日（水）18:30-20:30

講師：三谷公美様（一般社団法人LOCAL）

日本国内には分野を問わず多くのコミュニティが存在しています。それらのコミュニティは、個人や団体によって運営されており、それぞれの成り立ちによって様々な形態が存在します。

本ワークショップでは、多くのコミュニティ運営に参加している話者から任意団体を一般社団法人化した経験を紹介していただき、コミュニティ運営体制の現状や課題について議論しました。

写真：講師の三谷様

第24回：UnicodeとPRESIS Frameworkを用いた国際化文字列の前処理方法（後編）

日時：2017年6月20日（木）18:30-20:30

講師：根本貴弘様(青山学院大学情報メディアセンター)

4月に前編として実施した第22回のワークショップに引き続き、文字列の国際化の背景やIETFにおける国際化の現状、PRECIS Frameworkの解説を行っていただき、文字列の処理について講師と参加者を交えた活発な議論が行われました。

第25回：Public Policyのできるまで

日時：2017年7月11日（木）18:30-20:30

講師：高村信様（総務省 総合通信基盤局データ通信課企画官）

本ワークショップでは、国内の通信政策を担当する行政機関の担当の方から、法制度の設計から実装までのプロセスについてお話いただきました。日本におけるパブリックポリシーの整備において、議論のスタートから成立までのプロセスを実務担当者視点の情報として共有し、議論と質疑を通じて法制度作成プロセスへの理解を深めました。

第26回：インターネットを動かしている組織を知ろう～その1 ICANN At-Largeとは

日時：2017年8月10日（木）18:30-20:30

講師：北村泰一様（九州大学病院 / ALS-Japanチェア）

ICANNには様々の立場から多くの関係者がコミュニティを形成して関わっています。その中でもAt Largeは、インターネット利用者の観点からICANNの意思決定に関わっています。

本ワークショップでは、At-Large Structure（ALS）の仕組みや現状の活動、グローバルな議論動向について、ALS-Japanのチェアである講師に解説いただき、国内における活動の広がりの必要性について議論を行いました。

Internet Society Japan Chapter
インターネットソサエティ 日本支部

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-6-2
アーバンネット神田ビル 4F JPNIC内
E-Mail: contact@isoc.jp
https://www.isoc.jp/

Copyright © 2017 Internet Society Japan Chapter. All rights reserved.